

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	県営中山間総合整備事業(竜東飯橋地区)				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)	
部等名	産業経済部	課等名	農業課		包含する細々目	1	6	1	7	22	1	36,360	
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり												
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動												
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	関連計画 条例等								
		事業期間	12	年度～		21	年度						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	竜東4地区(下久堅、上久堅、千代、龍江)	竜東4地区人口	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする		
			9873	9870			
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	農業生産基盤及び農村生活基盤を整備する	事業費ベースの整備率(%)=整備済事業費/計画事業費(%) 情報基盤施設整備を除く	18目標	63	最終目標	100	21
			18実績	63	19目標	71	↑
			23目標	100	23実績		最終目標達成年度
			18目標		最終目標		
			18実績		19目標		↑
		23目標		23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	H12年5月に飯田市と喬木村の広域連携型として事業採択され、以降、農業用水路の整備、農道整備、堆肥センター整備、情報基盤施設整備等の事業を順次実施してきている。 <採択時の計画事業費> 全体計画事業費 1,837,000千円 (情報基盤施設整備事業を除く 1,106,000千円) 負担割合 ・国55%、県30%、市10%(15%) 地元5%(0%) ( )内は道水路整備事業に摘要 計画事業内容 ・農業用排水施設(2工区) ・農道整備(2工区) ・農業集落道整備(1工区) ・ほ場整備(3工区) ・動物誘導施設(竜東全域) ・堆肥センター(1施設) ・活性化施設(1施設) ・情報基盤施設整備(竜東全域)	・情報基盤施設整備事業を優先実施し他事業は休止  18年度の実績  19年度計画 (・情報基盤施設整備事業 年度内完了予定) ・ほ場整備(龍江尾林) ・農道整備(下久堅南原) ・活性化施設設計画設計(下久堅柿野沢)	・ほ場整備面積(ha) ・農道整備延長(m) ・計画設計(式)	0   2.3 15.0 1

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	0	2,687
一般財源		33,673	
事業費計(A)	0	36,360	
人件費	正規職員所要時間	18年度 80	19年度 200
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	286	715
	トータルコストA+B	286	37,075

特定財源内訳や補足事項	地元負担金
-------------	-------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	出荷額等を高める活動をする	既存農業者の産出額(農業):億円	現状値	119.3	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	139.1
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
竜東中山間地域は、急しゅんな地形と狭あい農地が点在する地域的な条件から持続的な営農が困難となり農地の遊休荒廃化が進んできている。また、情報インフラについては、民間事業で整備が進む竜東地域との格差が拡大してきている。	各種事業の導入を通じて、農業生産基盤及び農村生活基盤の整備が順次進んできているものの、未だ継続的な整備を必要としている。長野県の財政改革推進プログラムに基づく公共事業費の削減が進む中で事業の完了時期が遅延してきている。	竜東総合開発整備推進委員会及び施工計画箇所の自治組織から事業の早期完了を求める要望を再三受けている。市議会一般質問においても、情報基盤施設整備事業の早期完了を中心とした意見が多数出されてきた。

## 【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由)	
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		竜東4地区のみが事業採択地域である。	廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		竜東地区の農業基盤及び農村生活基盤の継続的な整備が必要である。	他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) 関連事業あり (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由)		整備計画箇所はいずれも市が整備する必要性が極めて高い。	成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 不可能 (その理由)
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)	

## 【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	平成21年度には事業採択から10年経過となり、以降の実施については事業再評価の対象となる。このため、平成21年までの事業完了に向けた事業推進について県への働きかけを行っていく。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	事業実施においては、地元との調整、連携が必要である。竜東総合開発整備推進委員会を窓口とした協議を行い今後の事業推進を図る。

### 【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がある	(2) 必要性な場合の実施事由	2- 施設などを新設、改造、廃止するとき
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？			

### 【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	